



農業経営科では、生徒の主体性や創造性を育むため、地域の農家・行政・企業との連携やデュアルシステム制度を取り入れた課題研究に取り組み、専門教育の充実を図っています。

進学先は、国公立大学の農学部、私立大学等の4年制大学、農業大学校、専門学校などと多岐に渡っています。また、就職先は、J Aや製造業、サービス業などです。

特徴的な活動

栽培・飼育、農業経営に関する知識と技術により進路実現を目指す

2017年（平成29年）12月26日、J G A P 認証をトマトで取得し、その後、ナシとブドウ、玄米、ネギの5品目のJ G A P 認証を取得し活動を継続しています。

農産物の安全・安心を証明するG A P 認証の取得は、これからの新しい農業の流れであると同時に、消費者からの信頼を維持するための必要条件となってきたことから、多くの場面で活動を紹介していきたいと思います。

今年度は全国産業教育フェア栃木大会のプレ大会がマロニエプラザで開催され、その緑化活動を行いました。宇都宮市と連携した市内の緑化ボランティアに参加し、ハンギングバスケットの設置やプランターへの花苗の定植を通して地域の方々との交流を深めています。また、デュアルシステムを4名の生徒が活用し、農家での実習を実施しています。今後も、地域の活性化につながる活動を継続して行きます。



農業学習や農村文化の保存活動を通して地域貢献できる生徒の育成を目指す

毒物劇物取扱者、農業技術検定2級、危険物取扱者などの資格取得を目指し、専門教育の充実を図っています。また、地元で生産されたユリやバラを活用した花育活動や、ロボットトラクタ、ラジコン草刈り機の実演によるICTの学習、牛のOPU（超音波診断装置を用いた卵子採取）の実施による最新の繁殖技術の学習、酒米栽培を通じた地域酒蔵との連携、地元の貴重な農産物（乾瓢やエソシマモチ）を後世に継承する活動、ドローンを活用した水田、牧草地への薬剤散布、温室の環境制御システムの活用などICT技術を授業に取り入れた活動をしています。





バイオテクノロジーを学ぼう！

生物工学科では、植物バイオテクノロジー・動物バイオテクノロジーや微生物の利用などについて学習しています。

バイオテクノロジーは、私たちの生活の身近なところで役に立っている技術です。

学習内容

- 植物分野 . . . 鉢花の栽培、ラン類の組織培養
絶滅危惧種培養・栄養繁殖系植物の組織培養
- 動物分野 . . . マウス・ハムスター・ウサギ・イモリの飼養生態実験
- 微生物分野 . . . キノコの栽培、細菌類大腸菌などの培養・無菌操作



地域や関係機関との交流活動と新たな検定試験にも挑戦

- ・ 宇都宮市・さくら市の鬼怒川河川敷の絶滅危惧種の保全活動や
みやの環境創造提案事業参加や、特別支援学校2校との交流
- ・ バイオ技術検定初級、農業技術検定、危険物取扱者試験乙種
毒劇物試験に加え新たに家庭動物飼育検定（小動物、爬虫類、
両生類、海洋動物）に合格しています。





幅広い視点から「食品」を学ぶことができる！

食品科学科では、食品の製造、食品成分の働きや基礎実験、微生物の利用、流通に関して学び、普段の食生活や食品業界でも活かせる知識と技術を学習しています。



「食育の推進活動と交流教育」

本校食品科学科は、「宮っこ食育応援団」に登録し、近隣の小学校、特別支援学校、地域コミュニティなどにおいて、食育についての出前授業を行っています。

また、製造実習を通して異校種/異年齢間の交流を深めています。



「食のプロから直接指導！」

地域の飲食店/製菓店や専門学校、保健所等から講師を招き、より専門的で高度な知識や技術を体験を通して習得することができます！また、1年次からの実践で進路の具体化もすることができます。

SDGsへの取組
アップサイクルプロジェクト

地域とともに科学的に創造！「食」と「農」からまちづくり ～地域連携事業 3つのプロジェクト～

食品科学科食品製造分会では、地域の特産物や規格外農産物を活用した商品開発を通じた地域活性化を研究のテーマとして3つのプロジェクトを地域とともに展開しています。

🍋プロジェクト1 新たなレモンの産地宇都宮から「宮れもん」を活用した商品開発！

空きハウスを活用して生産された宇都宮市の新特産品「宮れもん」を利用したパン・菓子などの商品開発を通して、地域を盛り上げるとともに、食育活動を展開し地産地消の大切さを伝えています。

- 「第5回全国高校生農業アクション大賞」認定グループ/令和5年度とちぎ地産地消夢大賞優秀賞/令和5年度関東地区学校農業クラブ連盟大会プロⅢ類優秀賞

🍅プロジェクト2 規格外トマトを活用した地産地消うどんの開発！

本校農業経営科が生産するトマトの規格外品と宇都宮市で生産されている小麦「さとのそら」を使用し、地域や企業と連携し「白楊トマト宮うどん」を商品化しました。

🥬プロジェクト3 地域企業とタイアップ！野菜のレシピ開発

今年度から地域の種苗企業と連携し、野菜のレシピ開発を実践し、ホームページ等で公開されています。





文武両道の精神で資格取得と進路実現

農業工学科では、学科の約8割の生徒が運動部に所属し毎日練習に励んでいます。また、測量士補をはじめ、2級土木施工管理技士、危険物取扱者、車両系建設機械やフォークリフトといった建設現場で即戦力となる資格やビジネス文書実務検定など、様々な資格取得にチャレンジし多くの合格者を出しています。

たくさんの生徒が文武両道の精神を持って学校生活を送り、宇都宮大学農学部、同地域デザイン科学部、新潟大学農学部、東京農業大学地域環境科学部などをはじめとする4年制大学や専門学校への進学、農林水産省、宮内庁御料牧場、栃木県庁、宇都宮市役所、消防士、警察官等の公務員合格、ファナック（株）、富士重工業（株）、（株）クボタ、日産自動車（株）、栃木県土地改良事業団連合会などへの就職等、様々な希望進路を実現しています。

地域と協働して「水生生物の調査」や「特定外来生物駆除」に取り組む！

宇都宮市の江川や上欠沼において、こもりやグリーン倶楽部や姿川環境保全会、地域の子供たちと協働して、生物調査や環境調査、特定外来生物の駆除活動などに取り組んでいます。この取組は、生徒が身近な環境やそこに起きている問題について知り、地域環境について考える貴重な機会となっています。

また、子供たちや地域の方々と協働することで、より多くの人に地域環境に目を向けてもらうことができ、自分たちの取り組みが、社会に役立っていることの喜びを実感することができました。



林業体験で森林再生や管理について学習！



例年、宇都宮市役所や宇都宮市森林組合、グリーントラストうつのみやの皆様にご協力をいただき、キャリア形成支援事業の一環として、戸祭山緑地や鶴田沼緑地などにおいて、樹林地の再生についての学習と林業体験を実施し、生徒全員がチェーンソーによる丸太切りを体験させていただいています。

樹木の伐倒と枝下や高所における特殊伐採の実演など、森林組合の方の熟練された技術を実際に見学させていただいたり、樹林地再生や林業の重要性を理解させていただいたりする、大変貴重な機会となっています。



地域との連携で人づくり！

農業工学科では、学校で学んだ知識や技術を基に、生徒一人一人が地域での各種活動に積極的に参加しています。その中で主体的に活動することで、様々な経験を、幅広い年代の方々とのコミュニケーションを通して大きく成長しています。

そして、「卒業後は地方公務員として、地域に貢献できる仕事がしたい。」と考える生徒が増え、毎年公務員試験合格者を輩出しています。これからも、地域の担い手やリーダーとなり得る人材の育成に向けて、地域の皆様とともに諸活動に取り組んで行きたいと考えています。

目指せ！測量士補試験 全員合格！

学科の大きな目標として「測量士補全員合格」を掲げ、日々学習に励んでいます。結果、毎年多くの生徒が試験に合格しています。

【年度別合格者数】

令和	元年度	23人
令和	2年度	11人
令和	3年度	9人
令和	4年度	19人
令和	5年度	9人

